

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)丸全昭和運輸株式会社関西	階数	地上6F
建設地	大阪府堺市堺区築港八幡町1-157	構造	SRC造
用途地域	工業専用地域・指定無し	平均居住人員	100人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年9月 予定	評価の実施日	2012年9月4日
敷地面積	25,300 m ²	作成者	田原正寛
建築面積	14,061 m ²	確認日	2012年9月18日
延床面積	42,134 m ²	確認者	深澤伸俊



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 87%
 ③上記+②以外の 87%
 ④上記+ 87%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	屋根・外壁部分の断熱性に配慮。屋上に太陽光発電パネルを設置し、エネルギーに配慮。基礎部分に杭頭免震を採用し、災害時に配慮した計画となっている。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	その他
外壁部分に断熱パネル、屋根に断熱2重折板を用い断熱性に配慮。	地震時の被害縮小に配慮し、基礎部分に杭頭免震を採用。	0
Q3 室外環境(敷地内)	LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
緑地ブロック、底上に苔緑化を施し、室外環境に配慮。	屋根面に900kwの太陽光発電装置を設置。	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要	建物名称	(仮称)丸全昭和運輸株式会社関西支店堺倉庫営業所新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区築港八幡町1-157、158	1.3	B+
	主用途/延床面積	工場 / 42,134.37 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	
省エネ対策	4	
みどり・ヒートアイランド対策	3	
安全快適な暮らし	4	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.5	4
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	5.0	4
		住居・宿泊部分	5.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.1	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.5	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		5.0	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		3.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		1.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.4	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		5.0	

4. その他

技術の名称	考慮事項
杭頭免震装置	大規模地震に考慮
特に配慮した事項	
太陽光発電	